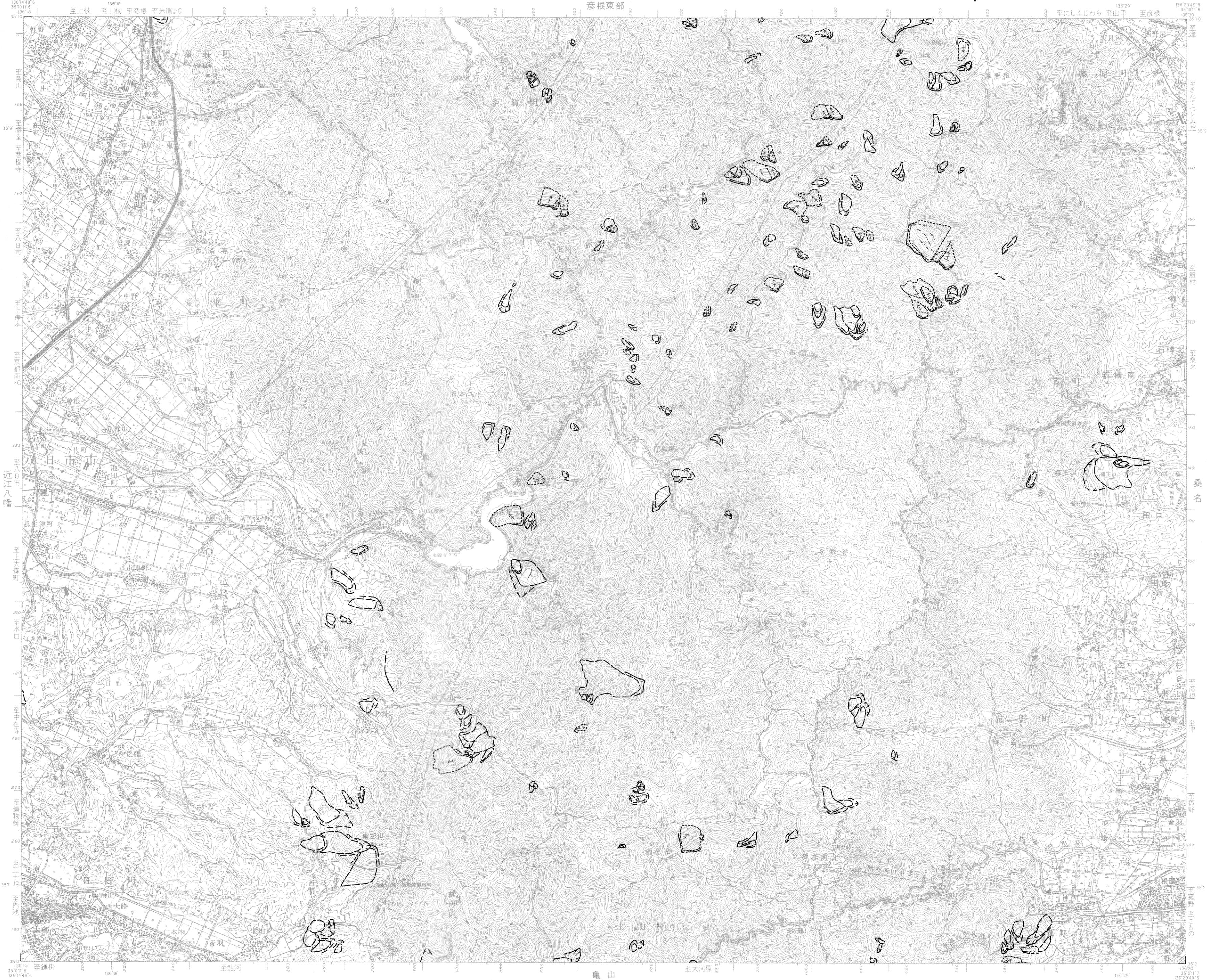


地すべり地形分布図 御在所山

彦根東部

Landslide Map of GOZAISHOYAMA



防災科学技術研究所 National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention © 200
防災科学技術研究所研究資料 第259号

調査者 八木浩司・清水文健・井口 隆・大八木規夫
by Hiroshi YAGI, Fumitake SHIMIZU,
Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI

凡 例

輪郭構造

滑落崖と側方崖

新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・削剥域下限

内部構造

二次・小滑落崖、崖線の
解析程度に応じて輪郭構
造の場合と同様に表わす

雁行龜裂

サブユニットの境界、内
部(二次)移動体輪郭

線状窪地・小谷底線、
→は谷の出口または
谷底の傾斜方向

移動体内の小尾根

池

幅の広い溝状凹地、龜裂

水のない窪地

幅の狭い溝状凹地、龜裂

膨陸地の前線

移動方向等

移動体の主移動方向

すべり

クリープ（匍匐）

流れ・押し出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

還急線

活断層（地すべりを変位させている顕著な断層）

地表面等および節理・断裊の走向・傾斜

The figure consists of two parts. On the left is a map of Shiga Prefecture's administrative districts, with labels 1 through 8 and latitude/longitude coordinates. On the right is a detailed map of the Nagoya area with labels for districts like Engei-nishi, Engei-honbu, Tsushima, Inuyama, and surrounding areas.

滋賀県 ()内は所属20万分の図の図名
1. 愛知郡 2. 犬上郡 3. 神崎郡 4. 八日市市
5. 蒲生郡 6. 甲賀郡

三重県
7. 員弁郡 8. 三重郡

1:50,000 御在所山

1000 m 0 1000 2000 3000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第 514 号)」

許可なく複製を禁ずる